

彩の歳時記

平成二十八年 九月

月見れば千々に物こそ悲しけれ 我が身一つの 秋にあらねど

大江千里



「月を見れば心はさまざまに乱れて物哀しい。私一人のために秋がやってきたというわけでも無いのに」

「ちぢ(千々)」と「一つ」を対照的に使い、秋の心情を詠った秋を代表する名歌。

「哀愁・旅愁」など「愁」は「秋の心」と書き「もの悲しい」の意味で、平安の昔から秋は思索にふける悲哀の時季と捉えられていました。急激に温度が下がったり長雨が続くど情緒が不安定になる人も多く、平安の歌人と現代に暮す私達も時空を超えて通じる感覚に懐かしさを覚えます。十三夜・十五夜などもあり、「月」に想いを馳せる時を大切にしたいものです。

九月の暦

長月・空が特に澄み渡り、長い時間、月を眺められることから。

柿本人麿【660～724頃】

一日 関東大震災記念日。防災の日。関東大震災を教訓とし、防災意識を高めるために1960年に制定。

一日～三日 越中おわら風の盆(富山県八尾市)二百十日の大雨をおさめ五穀豊饒を願う情緒豊かな盆踊り。

哀調のある胡弓の調べ、越中おわら節の哀切な旋律にのって、無言の踊り手たちが踊り歩く。

七日 白露【二十四節気】「露凝って白き」の意。大気が冷えて、露ができ始めるころ。

白露に風の吹きし秋の野はつらぬきとめぬ玉ぞ散りける 文屋朝康

九日 重陽【二十四節気】五節句の一つ。陰陽説で最高の数字・九が重なる最高の節句。

宮中では「菊の宴」が江戸時代まで催された。これが秋の園遊会に引き継がれている。



十一日 愛国記念日【アメリカ】2001年のこの日、ハイジャックされた旅客機によるマンハッタンの貿易センタービル他への同時多発テロで2801人の犠牲者を出したアメリカが2002年より制定。

十五日 中秋の名月 月見の行事は平安時代に遡り、江戸時代に入ると、作物が月の満ち欠けと共に成長する縁起から「十五夜」は秋の収穫祭とも捉えられた。

十四日～十六日には、秋のトンネルで有名な向島百花園で「月見の会」が催される。



十九日 敬老の日 日本の平均寿命、男は約八十一歳、女は約八十七才。これから益々、高齢化社会に。彼岸の入り 二十五日・彼岸の明け

十九日 子規忌・糸瓜忌

俳人、正岡子規【1867～1902】の忌日。子規の号は「ホトトギス」に因み喀血してから。俳誌「ホトトギス」創刊。夏目漱石と親交を結び

俳句、短歌、新体詩、評論、随筆など多彩な創作活動を行い、日本の近代文学に大きな影響を及ぼした。辞世の句は「糸瓜啖て痰のつまりし仏かな」。伊予松山の人。同郷の小説家・大江健三郎は

子規を「この世界に向けて、歩きながら能動的な関係を結ぼうとする人間」と規定。生涯に20万を超える句の中で最も有名な句「柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺」は療養生活の世話や奈良旅行を工面した漱石作「鐘つけば銀杏ちるなり建長寺」の返礼の句。根岸の子規庵は晩年の住居で現存。



二十二日 秋分の日【二十四節気】秋彼岸の中日 国民の祝日

台風襲来の特異日・統計上、台風襲来回数最多日

九月の歌

旅愁

詞 犬童球溪【1879～1943】 アメリカ歌曲

犬童は熊本県人吉の人。明治四十年(1907年)「中等教育唱歌集」(翻訳唱歌集)に犬童の訳詞曲として『旅愁』と『故郷の廃家』の二曲が採用された。

林芙美子の「放浪記」の冒頭「私は北九州の或る小学校で、こんな歌を習った事があった。更けゆく秋の夜 旅の空の侘しき思いに 一人なやむ恋いしや 古里 なつかし父母、私は宿命的に放浪者である。私は古里を持たない。」

